

会 議 録

会議の名称	令和4年度第4回和泉創発プラン進行管理会議
開催日時	令和5年2月1日（水）午前9時から午前9時50分まで
開催場所	庁議室
出席者	<p>森吉副市長、吉田副市長、小川教育長 小泉参与、山本危機管理部長、山崎市長公室長、前田総務部長、立花環境産業部長、堂ノ上福祉部長、森市民生活部長、藤原健康づくり推進室長（岩井子育て健康部長代理）、八木都市デザイン部長、並木教育次長兼教育・こども部長、辻生涯学習部長、森下上下水道部長、藤原消防長</p> <p>【事務局】 （政策企画室）東政策企画室長、西川政策・資産マネジメント担当課長、田嶋総括主幹、中津主事 （財政課）古川総務部次長兼財政課長、船津課長補佐 （人事課）奥人事課長、富岡課長補佐</p>
欠席者	岩井子育て健康部長
会議の議題	<p>（1）和泉創発プラン進行管理表（令和5年度予算案ベース）について</p> <p>（2）市長公約事業の状況について</p>
会議の要旨	<p>（1）和泉創発プラン進行管理表（令和5年度予算案ベース）について 和泉創発プラン進行管理表（令和5年度予算案ベース）（事務局案）が承認され、令和5年第1回定例会総務企画委員会協議会に報告することとした。</p> <p>（2）市長公約事業の状況について 市長公約事業の取組状況について報告を行った。</p>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

事務局

令和4年度第4回和泉創発プラン進行管理会議を開催する。和泉創発プラン進行管理要綱第2条第2項の規定により、進行は森吉副市長にお願いする。

森吉副市長

本日の会議の目的は2点あり、1点目が、令和5年第1回定例会総務企画委員会協議会に報告を予定している資料番号1和泉創発プラン進行管理表(令和5年度予算案ベース)の内容確認、2点目が市長公約事業の取組状況についての情報共有である。

それでは、次第に従って、議事を進める。

次第1. 議事(1)「和泉創発プラン進行管理表(令和5年度予算案ベース)」について事務局から説明願う。

政策企画室

人事課

財政課

資料番号1「和泉創発プラン進行管理表(令和5年度予算案ベース)」について、3ページ「令和5年度の主な取組」、4ページから9ページ「まちづくりの取組」、10ページ「公共施設マネジメントの主な取組」については政策企画室が、11ページ「頑張る職員が報われる制度・働き方改革の取組」については人事課が、11ページ「財政健全化の取組」については財政課が説明する。

なお、12ページ以降は資料編となるため参照願う。

堂ノ上福祉部長

収支見通しについては決算時期での報告となっているが、令和5年度当初予算案の状況を見ていると、既存の取組に加え、新たな取組も様々追加されているように思うが、現在の収支状況はどうなっているか教えて欲しい。

財政課

改訂版の収支見通しと比較して、現時点の収支状況の主なマイナス要因として、令和5年度当初予算案では、富秋中学校区等まちづくり構想の推進のうち、(仮称)富秋学園の整備費が建築物価の高騰に伴い、約12億円増加している。今後も、令和5年度当初予算案に未反映の富秋中学校区等まちづくりの本体事業や、その他の大型事業についても、建築物価の高騰等により、収支見通しに多大な影響があるものと想定される。

一方で、唐国住宅跡地の売払収入の増加などプラス要因もあり、次の令和4年度決算見込みベースの進行管理では、令和4年度決算を反映するとともに、それらを反映した収支見通しの置換えを行った時に、10年先までの基金残高30億円が確保できない場合は、予定している事業の優先順位の見直しや延期

	<p>などの検討が必要となるものと考えている。</p>
堂ノ上福祉部長	<p>11ページの②働き方改革の推進に係る取組として、インターンシップの拡充と記載があるが、職員の働き方改革とどのような関係があるのか。</p>
人事課	<p>インターンシップの拡充により、職員採用試験の受験者が増加することで、欠員等が解消されることから、職員の働き方改革に繋がるものと考えている。</p>
堂ノ上福祉部長	<p>現状、ラスパイレス指数は97程度であると思うが、人事給与制度改革によりラスパイレス指数は上昇するのか。</p>
人事課	<p>経過措置を講じた場合、その期間中はラパイパレス指数が上昇すると思われるが、100を超えることがないように配慮する。将来的には、現行と同程度の数値に落ち着くものと試算している。</p>
辻生涯学習部長	<p>人事給与制度改革に係る職員への公表時期等、詳細は決まっているか。</p>
人事課	<p>職員への公表については、今後、業務時間外での職員説明会を予定している。 また、人事給与制度改革に係る詳細については、人事給与制度改革実行プラン（案）として、和泉創発プラン進行管理表の報告と併せて、第1回定例会総務企画委員会協議会への報告を予定している。</p>
山本危機管理部長	<p>昨今、若手職員が退職するケースが見受けられるが、定員の増加等は考えているか。</p>
人事課	<p>人事給与制度改革は職員の質の向上を目的としているものであり、職員の定員管理については別問題と考えているので、改革に伴う退職者数の試算は行っていない。</p>
森吉副市長	<p>人事給与制度改革に伴い、退職する職員が出る可能性も考え得るが、定員管理については今後の課題である。</p>
森下上下水道部長	<p>21ページ「53.庁舎整備事業」がまちづくりの取組として位置付けられているが、公共施設マネジメントの取組としてではなく、まちづくりの取組と</p>

	<p>して位置づけているのはなぜか。</p>
政策企画室	<p>公共施設マネジメントは公共施設等総合管理計画で進行管理を行うものだが、和泉創発プランにおいては、そのうちの主な取組として、面として捉えた大型事業である「北西部地域公共施設再編成事業」、「富秋中学校区等まちづくり構想」の2事業を掲載している。庁舎を含め、個々の公共施設の整備については、まちづくりの取組として整理している。</p>
藤原消防長	<p>人事給与制度改革に係るスケジュールを教えて欲しい。</p>
人事課	<p>予定としては、第1回定例会総務企画委員会協議会に人事給与制度改革実行プラン（案）を報告し、意見等を踏まえ、第2回定例会で給与条例等の条例案を提出し、令和6年度からの施行を考えている。</p> <p>また、給与条例の施行に先立ち、令和5年度からは新しい人事評価制度を運用したいと考えている。</p>
吉田副市長	<p>人事に係る取組について、今後、職員の定員管理は課題である。他の事業においても、課題意識をもって、各部局長のマネジメントの下、しっかりと解決に向けて取り組むように。</p>
森吉副市長	<p>他に修正等の意見もないため、この内容で第1回定例会総務企画委員会協議会に報告する。</p>
森吉副市長	<p>続いて、次第2.その他（1）「市長公約事業の状況」について、事務局より説明願う。</p>
政策企画室	<p>資料番号2「公約統括表」について、各公約事業の進捗状況について説明する。</p>
森吉副市長	<p>各部局においては、引き続きしっかりと取り組むようお願いする。</p>
森吉副市長	<p>本日の会議のまとめをする。</p> <p>和泉創発プランについては、市長公約を含め、政策的に重要な施策を反映するため、和泉創発プラン進行管理会議でも議論を重ね、昨年12月に改訂版を</p>

策定したところである。

各部においては、着実にプラン達成に向けて、取り組んでもらっているが、計画期間も残り2年となるため、改めて各部局長のマネジメントの下、しっかりと取り組むようお願いする。

なお、本日承認された「和泉創発プラン進行管理表（令和5年度予算案ベース）」については、第1回定例会総務企画委員会協議会への報告を予定しているため、事前準備等を含め、事務局と連携しての対応をお願いする。

最後に留意点として、昨今の建築資材や光熱費等の高騰等で、「（仮称）富秋学園」をはじめとした建設事業費が増加しているが、今後の社会情勢を勘案すると、その他の事業についても財政収支への影響が懸念される。

今後、和泉創発プランに掲げる基金残高目標30億円を確保できない場合には、他の事業の見直しによる財源捻出も想定されるため、各部局においては、既存事業の見直しや財政健全化に取り組むようお願いする。

また、各部局においては、事業に取り組む上で、和泉創発プランにおける位置づけやスケジュール、事業費等を十分に確認するとともに、プランと乖離が生じた場合には、しっかりと庁内調整を図るようお願いする。

以上をもって、令和4年度第4回和泉創発プラン進行管理会議を終了する。